

まんさく

第270号

発行

特別養護老人ホーム光寿苑
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
koujhu@fancy.ocn.ne.jp
題字 元理事長 太田 祖 電



敬老式典や宴自体が催せない中、どうやって敬いの心を表現するか考えた結果、馴染みある歌を皆で歌おう(^_^)となりました。コロナ禍ですので感染対策を考慮しつつ…でしたが、盛り上がりにより、結果、お年寄りたちに乗せられて楽しめました♪

関連記事 112頁・8頁



「久しぶりにおもしろかったよ〜♪。ありがとうお〜♪」
お年寄りたち、心から楽しんでる空気は、はっきりに伝わってきた光寿苑敬老の日。お祝い品もお渡しする中でも「俺さんもあるのか!？」と嬉しそうな笑顔。大きな行事はできないけれど、小規模でも目の前の人に喜んでもらう取組みの方が、心からの喜びも実感・共有できると思えた時間。
…感謝♡

光寿苑敬老の日に怪しげな集団!
敬いの心を歌声で♪
《令和3年9月17日午前》

周りから愛された明るい姉さん気質永遠に…



大澤トラノさん【91歳】

相手の表情を見て、笑顔でやさしく接してくれるトラノさんが好きでした。トラノさんのつぶらな瞳に、いつも癒されてました。会えないのが淋しいです。それでも生きて出
会えたことに感謝です。ありがとうございました。

《担当・高橋太樹》

『今生より
往く』

敬老の日フォト (🎵) (9月17日)



飛び込みの聖火ランナーが滑走(🎵)
湯田の伊藤広務様のお計らいにより、
一式お借りして盛り上がりました♪

【ひやりはっと及び事故まとめ】(令和3年度上半期)

前回R2年度上半期より『30件増』

事故内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
外傷	24	18	22	31	21	21	137
転倒・転落	1	3	6	3	6	11	30
見守りエラー	1	2	0	4	3	3	13
管理ミス	3	0	4	1	2	2	12
誤嚥・誤飲	1	2	1	0	3	2	9
与薬	0	0	0	3	1	1	5
点滴	2	0	0	1	0	0	3
経管栄養	0	0	0	0	1	1	2
尿カテーテル	0	0	0	1	0	0	1
熱傷	0	0	0	0	1	0	1
紛失・破損	0	0	0	1	0	0	1
自傷	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	1	1	0	0	2
合計	32	26	34	46	38	41	217

場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
居室	20	17	18	26	28	33	142
廊下	2	1	3	2	2	0	10
ホール	2	3	2	1	0	0	8
浴室	5	5	8	10	4	3	35
トイレ	1	0	0	3	3	2	9
介護室	1	0	0	0	1	1	3
ベッド	0	0	1	2	0	0	3
エレベーター	0	0	0	1	0	1	2
配膳室	0	0	1	1	0	0	2
湯の町茶の間	0	0	1	0	0	1	2
洗濯場	1	0	0	0	0	0	1
合計	32	26	34	46	38	41	217

所見	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
内出血	17	11	14	21	12	16	91
擦り傷	1	2	2	3	3	0	11
爪外傷	0	3	3	2	2	0	10
表皮剥離	4	3	1	0	1	0	9
掻き傷	0	0	0	4	0	2	6
切り傷	2	0	0	0	0	0	2
窒息	1	1	0	0	0	0	2
裂傷	0	0	0	0	0	1	1
ケガ無し	7	6	14	16	20	22	85
合計	32	26	34	46	38	41	217

発生時間帯別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
6:00~8:00	2	1	2	4	5	4	18
8:00~12:00	9	8	6	14	7	8	52
12:00~18:00	12	13	18	19	13	12	87
18:00~22:00	4	3	2	1	8	11	29
22:00~6:00	5	1	6	8	5	6	31
合計	32	26	34	46	38	41	217

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
要介護Ⅲ	10	6	13	13	15	13	70
要介護Ⅳ	16	11	12	16	8	15	78
要介護Ⅴ	6	9	9	17	15	13	69
合計	32	26	34	46	38	41	217

【発生件数】が前年度比較で大幅増となっているが、内訳を見ると主にその増加要因は外傷の増加と思われる(前年度同期比44件増)。更に細かく見ると【内出血】が前年度同期比で29件増加しており、逆に【転倒・転落】は16件減少している。

また、特定のお年寄りに内出血を含めた外傷が頻発する傾向も見て取れ、発生件数の上位5名の割合が全体の47%を占める結果となった。この要因としては、経管栄養を実施しているお年寄りを中心として皮膚が非常に脆弱化している方に、原因が特定できない内出血が多発した事態に対し、なかなか有効な手立てが取れなかったことが挙げられよう。【事故】の対象となる、縫合を要する裂傷も1件発生した。

加えて、僅かな外傷や数日経たと思われる内出血も記録として残す傾向が定着化してきたことは、発生件数の増加に多少の関係があるものと思われる。

「動き出しんぶん」にて意識変革

職員を意識にアップローキ、心にケアを

「動き出しんぶんは本人から」という大塚具視先生の著書も、個別ケアで指導頂いてきた武田和典先生から御められ、本を読み進めた研修担当職員。本の中からは点検しております。

「これだ！」と感じた頁を印刷し、左記の様にして月2回発行。目を通しなから、主体をどこに置いていかす。

動き出しんぶん【令和3年度版】 「動き出しは本人から」

「ケアの質の向上、の取組みの一つとして、『動き出しは本人から』というものがあります。この取組みや考え方をみんなで共有したい♪…そう願い、今月から定期発行致します♪お目直し頂き、貴重な声もお待ちしております！ 【2021.7.9 初回スタート！ 光寿会理事長】

8 「欲しい言葉」
少し座って
いしましょうか？

介助を流れ作業にするのではなく、
次の動作への“すき間”を大切にします。

利用者が前力を見られるように立ち位置を変え、「少し座っていきましょうか？」などと少し“間”をとります。介助の手を離したり、ゆるめたりして座っていられそうかなど、利用者とのやりとりがコミュニケーションになります。座るために適当な介助量や手段を理解することができます。

介助で起き上がったとしても、のけ反るような状況避けることができれば、利用者は安心とともに周囲へ目向けることが増えます。たとえば、靴や車いすの目が向くことで、そこから靴をはいたり、車いすへの移乗に向けた動き出しが引き出される可能性も高まります (原書 p.249P)。



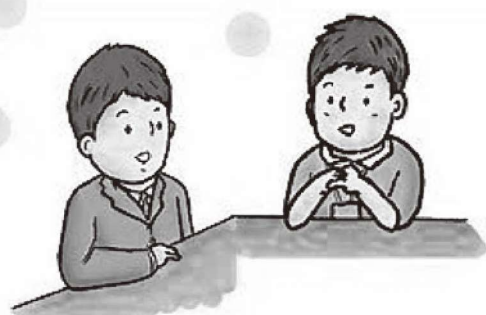
「やってみよう」
利用者の視界を遮らないように介助する。

ベッドから起き上がる介助をして、転倒しないよう利用者の身体を支えつつ靴をはく介助をする…。そして、次は移乗の介助…。これは、日常的に繰り返されている流れ作業のような介助の場面だと思えます。しかし、このような場面では、利用者の視界は介助者によって遮られた状態が続き、介助者が壁となってしまふことで、利用者の前方の世界、つまり前方へ動き出す範囲も狭いものになってしまうのです。介助者が利用者接近しすぎることが、寝返りの介助や起き上がりの介助の際に身体が反ってしまったり、座位になっても後方へのけ反ってしまったりする人が多くみられる要因の一つになっているものと思えます。

したがって、介助者は可能な限り利用者の視界を遮らないような位置で介助することを心がける必要があります。たとえば、ベッドから起き上がり、座位になったときは、介助者は利

動き出しんぶん『第6号』 ~ 2021年10月8日発行 ~

「メンタルヘルスケア」的談話



職員のメンタルヘルスに重きを置いた理事長による談話も3年目を迎えました。仕事の話から家庭の話、個人的話まで、明るい話から深刻な話まで拝聴する時間です。気持ち軽くなる人もいれば、新たな課題を持つ人も。全てに可能な時間とは成りませんが、少しでも一旦心の荷物を降ろす場として。

職員募集中



- 看護職員 (お年寄りの健康を守ります)
- 介護職員 (お年寄りの暮らしを守ります)
- 調理職員 (お年寄りの食を守ります)

フルタイムからパートタイマーに至るまで働き方は様々あります。

【例えば…】
8時30分～10時30分〔2時間のみ〕
検温・点眼・インスリン注射等、看護師の補助的役割！等々様々です。

まずはお電話を！ 0197-84-2526

☆働きながら必要な国家資格が取得できます☆

想... 災害を捉える ~大阪から発信をいたします⑥~

コロナ禍において、ひとを尊ぶ人権意識を持っているか

3.11以降に防災士資格を取得。防災精神とあり方を世間に発信し続ける大阪府の松岡由美さん。コロナ禍での差別と偏見が人の持つ人権をいかに脅かしているか。一緒に考えましょう。

▽コロナ禍において、ひとを尊ぶ人権意識を持っているか▽

新型コロナウイルスによって、これまでの私たちの暮らしは一変してしまいました。歴史の中でこそ見聞きしたことはありませんが、現代において感染症の蔓延により日常生活や国内外の行動制限がかかる社会の在り様を想像したことは一度もありませんでした。

一時期の大阪の感染拡大も顕著であり、「大阪は大変なことになっている」という印象をお持ちの方も多いと思います。「大変な状況の中にも、いつも通りの日常もあり、その「日常」を守るために、絶え間なく感染対策を行っています。

職場では、換気・消毒はもとより、共用備品を使った際には消毒して返却するなど、皆が安心して業務遂行ができるよう「配慮」をしています。

生活支援の現場に入ると痛感しますが、利用者さん其々に事情や状況、特性があることは然ることながら、そもそも世の中には色々な菌やウイルスが存在しているの、正直、感染対策において「ぜ

りリスクは不可能だと思っています。

私たちは生活を支える尊い大切な役割があります。過剰な防衛意識によって、必要なケアや福祉サービスが提供されない事態は避けたいですし、たとえ罹患された方かいた場合でも、できうる対策を徹底すれば、必要な支援を継続できる防護備品と知識を我々は備えてきたはずで

新型コロナウイルス、原発事故、ハンセン病に思いを馳せる時、不安と恐れが差別と偏見を助長させたという共通点を感ぜずにはいられません。感染対策、災害対応には、深い「人権意識」が必要だと思っています。

「我々の悲劇は、悪人の制圧や残酷さではなく、それに対する善人の沈黙である」

☆キング牧師☆

「地域生活とは、住みたい場所が、その人らしく生活ができる状態であり、公共の福祉に反しない限り、その人らしくは尊重される。我々支援者は福祉従事

者の名のもとに、その人らしく生きることを応援するの役割がある。その福祉とは「ふだんのくらしのしあわせ」を指し、決して障がい者や高齢者のためにのみあるものではなく、すべての人が持つ「幸せに暮らすための権利」と言えるはずである。く中略

すべての人が福祉という権利を行使できる環境こそが本来あるべき社会環境である。福祉をすべてのひとが持つ権利という視点で考えれば、福祉サービスに不要不急なものはなく、その人の権利を支える労働であり役割という意味でのサービスであることを忘れてはならない。

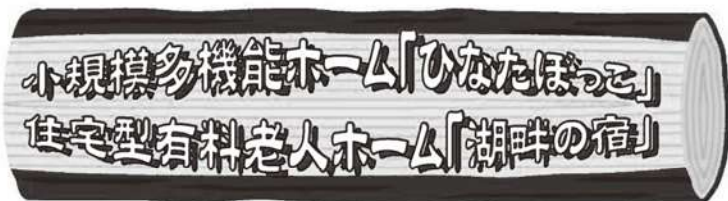
☆コロナ禍で見えてきた社会福祉実践の意義に關する一考察(当法人原田徹事務理事)☆

罹患された方には、温かい配りと思いやりの声掛け、そして回復を願います。

「大阪は大変なことになってる」とその言葉の裏に、どんな意識がありますか?

防災士、松岡由美

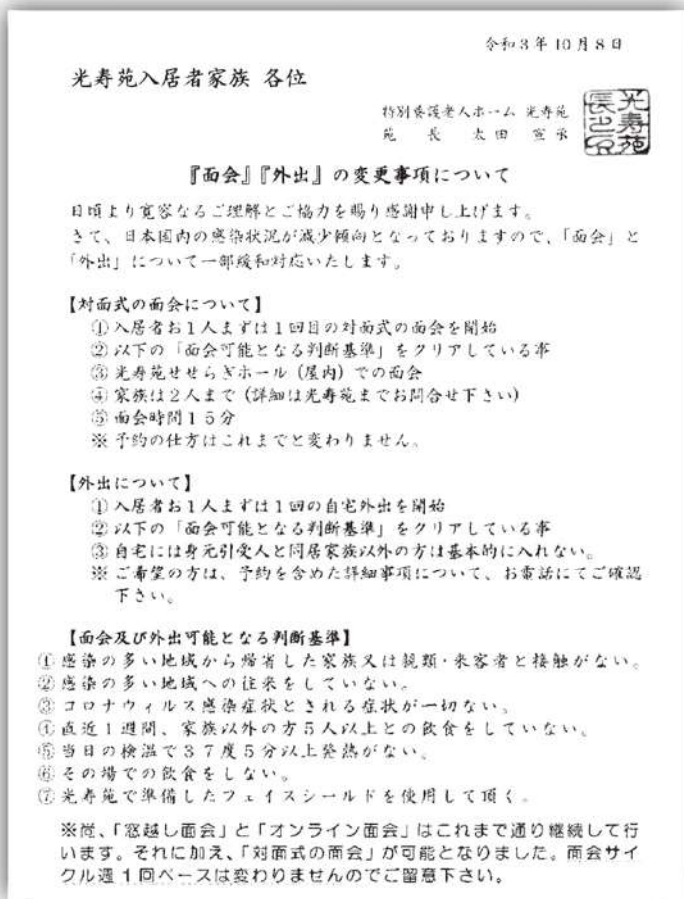
今月の登録者の方々
16名様です♪



～今月の記事はお休みとなります～

コロナ禍対応エトセトラ

㊦10月8日付で光寿苑家族会に出されたお便り、『対面式の面会』と『自宅外出』の一部緩和について
㊦株式会社 桜 (北上市)さん開発の感染対策ガウンとフェイスシールド。安全性&着脱の時短もできた逸品!



光寿会へのご支援おかげさまでした

寄附

★ 武政文彦様 [花巻市]

特別協力

聖火リレー一斉借用 (9/17)

★ 伊藤広務様 [湯田]

寄贈

- ★ JA花巻湯田支店様
- ★ ☆ 西和賀婦人連絡協議会様
- ☆ 菅原康悦様 [滝沢市]
- ☆ 小松陽子様 [秋田県]
- ☆ 佐々木里子様 [北上市]
- ☆ 高橋廣志様 [花巻市]
- ☆ 山口要子様 [奈良県]

寄贈(上)・訪問(下)

- ☆ 佐々木正様 [北上市]
- ☆ 藤原万里子様 [上野々]
- ☆ 石川アチ様 [上野々]
- ☆ 谷口祐子様 [川尻]
- 夜間防災訓練 (9/24)
- ☆ 菊地雄輔様 [上野々]

第96回

第96回目は、家族会役員の掃部佳代子さんの弟様・久保孝喜さんよりご執筆頂きました。それではどうぞ♪



久保孝喜さん

光寿苑にお世話になって
2年半。母・タイは、幾度
の入退院を経てなお、比較
的元気にホケルこともなく
苑の生活を送っています。
家族としては、スタッフの
皆さんに感謝の言葉しかあ
りません。小規模多機能ホ
ーム「ひなたぼっこ」での
個室生活では、身の回りの
ことは自分でできても、慣
れない集団生活のストレス
がつのつていたのですが、
光寿苑に転入できてからは、
スタッフの皆さんとの濃密
でやさしいコミュニケーション
ョンのおかげで穏やかに安
心しきって暮らすことができ

元気です！家族会♪

長生きもよいでねな

きており、嬉しい限りです。

母・タイは泉沢の「した
のえ(下の家)」と呼ばれ
る八年橋のたもとで生まれ
ました。昭和2年3月5日、
8人兄妹姉妹の次女として
その人生を歩み始めたので
す。却濤でも比較的大きな
藁屋根のその家は、子ども
時分の私にとってはおとも
広々とした気持ちのよい家
がしたから、たまに行くの
かとても楽しかったです。母
の父親は小柄な力持ちで、
酔うと踊り出すような陽気
でおもしろいおいいさんで
した。私が小学校に上が
った時分に突然亡くなった
のでした。知らせて来たの
は家族中で脱穀作業をして
いた夜の事でした。その時
の母の驚き具合いかに今でも
目に焼きついていきます。風
呂上がりの事だったと記憶
しています。

続く

光寿苑のかお

【入居者紹介】



平澤キワさん

水沢内前郷の元気印が、ちゃ♡
〔担当: 高橋直、柴田恵美〕

歌やお風呂が大好きなキワさん。昔は、平
澤商店という雑貨屋さんをやっていた、毎日
お客さんが来る前に店の掃除と草とりが日課
だったそうです。また、花が好きで庭に植え
たり、時々、近くの公民館で近所の人たちと
卓球を楽しんだりされていたとの事。
さらに、バスケット天ぷらを冠婚葬祭で振
る舞うのを地域に広めた第一人者なのだと、
いつまでも元気でおしゃべり上手で明る
いキワさんでいてくださいな。



21年前、ご法事で集まった
時の一枚。当時から話題豊
富に盛り上げていたそうです。

光寿会 270号



イラスト：1000

手づくりの敬老を導く日かできた。
多くの人になじみあるであろう選曲。
お年寄りたちの表情も喜びでやわら
いでいた。すばらしいひと時...
翌朝、お年寄りたちから、「昨日は楽
しかったよ！活気あって最高だったよ。
またお願いします」と声を掛けられた。

悲しみと怒りにひそむ

真の心を知るは「もののけたち」

宮崎駿「もののけ姫」

第69回 マルタン三世

自然法爾

「じねんほうに」

早期、寺を出て30分ほど
溪流沿いを散歩する。朝霧
の中に藤の花を愛でた頃を
過ぎ、今は栗の実やキノコ
が足下で迎えてくれる。間
もなく、一面紅葉に彩られるだろう。

夏が過ぎていくな...と思っていた頃だ。
息子が、奥の村の墓地での納骨から帰ってき
て、「途中でクマを見た」という。「お父さ
んの散歩道だ。しばらく休んだほうがいいな
と」。道沿いのブドウ畑に出たようだ。ブド
ウを作っているAさんに話したら、「いやあ、
オレも見た。ちよっとおっかないな」と。
各地でクマの被害が出ているようだ。札幌

の街中でヒグマに襲われた
というニュースが流れた。
山に餌となる木の実が不作
だという。だから熊も危険
を冒して人里に出て来るの
だと。

ジブリの「もののけ姫」の主題歌が流れて
いる。「悲しみと怒りにひそむ真の心を知る
は、もののけたちだけ」。もののけけ
とは、いのちの気配のこと。
熊の悲しみを知らずして出来るだろうか。札幌
のヒグマは捕まっただけで、友人の人に撃たれ、
撃った人の顔に悲しみがよぎったのを見た。
D.V.Dを借りて、観てみようと思う。

おわりに

ある仏教書を読んだ。

「サイコロをふって奇数と偶数
が同じ頻度が出る事が確率2分の
1という意味ではない。奇数・偶
数が交互に出るといふ事はなく、
1万回ぐらいふって、奇数・偶数
の出る回数かほぼ同じに近づいて
いくことなのである。

雨女とか雨男と言って、自分
が出掛けると決まっただけで雨が降る
という人がいるが、これも同じで、
たまたま雨の日が続いてそう思っ
ているだけ。人間は悪い事が続い
と、そこだけが記憶に残ってしま
いやすく否定的に考えがちに。
「昨日は好日」の如く、どんな
日も心かけ次第で素晴らしき日に！